

令和2年度 第1回 総合教育会議 会議録

開催日時	令和2年11月18日(水) 午後1時30分～				
開催場所	本庁舎 602・603会議室				
会議出席状況	市長	津久井 富雄	出席		
	教育長	植竹 福二	出席		
	教育委員	深澤 道昭	出席	川上 聖子	出席
		小林 朋子	出席	森 泉	出席
		渡邊 英憲	出席		
	事務局	教育部長	大森 忠夫	教育総務課長	高野 浩行
		学校教育課長	明澤 伸宏	教育情報企画監	尾畑 宏
		学校教育課	藤田 知史 増 潤 俊 行	教育総務課 (事務局)	伊東 佳子 松 本 一 弘

次 第

- 1 開 会 午後1時30分～
- 2 あいさつ 市 長
- 3 議 事
 - (1) G I G Aスクール構想の実現に向けた大田原市の取組について
 - (2) 第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」に向けた取組について
- 4 そ の 他
- 5 閉 会 午後3時5分
- 6 会議要旨 次のとおり

令和2年度 第1回 大田原市総合教育会議 要旨

令和2年11月18日（水）

開会 （午後1時30分～）

○教育部長 定刻となりましたので、ただいまから、令和2年度第1回大田原市総合教育会議を開会いたします。

初めに、本会議の主催者であります、津久井市長があいさつを申し上げます。

○市長 （市長 あいさつ）

大変お忙しい中、令和2年度第1回大田原市総合教育会議にご参加いただき、誠にありがとうございます。

本会議は、平成27年4月施行の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正法により、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政の推進を図るため市長が招集するもので、はや5年目を迎えました。

これまで、委員の皆さまからは忌憚のないご意見をいただくとともに、本市教育行政の前進と時代を先取った体制づくりにご尽力いただいておりますことに御礼申し上げます。

今年はコロナ禍ということで大変厳しい環境にありますが、教育現場においては校長先生を始め各先生方のご尽力、さらには教育長の陣頭指揮で、最大の課題である学校からの感染者を出さずにこれまでやって来ることができたことに対し、敬意と感謝を申し上げます。

現在、第3波の中にあると言われ、予断を許さない状況ですが、子どもたちは日々成長しており、コロナ禍によってそれを妨げるわけにはいきません。

こうした時代であるからこそ「禍転じて福と為す」の精神で、果敢に挑戦していただきたいと考えております。そのためにもこの総合教育会議の位置付けは、大変重要なものだと考えておりますので、本日も忌憚のないご意見をいただければと思います。

○教育部長 それでは、次第の3 議題について協議していただきます。ここからの議事進行は、大田原市総合教育会議設置要綱第4条第1項の規定に基づき、津久井市長が行います。

○市長 円滑な議事運営に努めさせていただきたいと思いますので、御協力のほどよろしく願いいたします。

本日の議題は、次第3に記載のとおり2件です。

まず、（1）GIGAスクール構想の実現に向けた大田原市の取組みについて、事務局の説明後、協議をお願いいたします。

○学校教育課
主査 増淵俊行

【GIGA スクール構想に向けた端末及びネットワーク環境の整備】

- ・現在の教育 ICT 環境は、Windows タブレット端末を教員用 350 台、児童生徒用 1,150 台配置し、2 教室に 1 台程度のアクセスポイントを設置し、電子黒板を 320 組設置し、ICT 支援員を各校に派遣している。
- ・文科省の GIGA スクール構想は、児童生徒 1 人 1 台の端末と高速大容量の通信ネットワークを整備することで、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現し、教育と ICT のベストミックスを図ることで、教師・児童生徒の力を最大限に引き出すこと。
- ・導入端末は、ノート型 PC の「Chromebook(クロームブック)」であり、必要最低限の機能を持ち、比較的安価に調達できる。来年 1 月末を目途に納品予定。
- ・ネットワーク整備は、これまでの 10 倍の高速通信機器に変更し、無線アクセスポイントも 2 倍に増やすもので、年内に整備が終了。

○教育情報企画監
尾畑 宏

【GIGA スクール構想実現のための準備とビジョン】

- ① ICT 活用を進めるための確認事項
 - ・全国の学校に約 900 万台のパソコンが入り、全てがインターネットに接続されるので、準備が最も重要である。
 - ・導入する Chromebook には、教育関係に特化した「Suite for Education」が入っており、従来の office 系アプリケーションのほか、新たに学級管理、学校の通知、テスト、宿題、遠隔会議、メール、スケジュール管理等に使用できるものがある。
 - ・学校で ICT を活かすため、これまで培われた学校教育のよさと、進化し生活に浸透する ICT のよさを歩み寄らせて、新しい教育の形を作り出すための準備をしなければならない。
 - ・ICT 活用で、授業のスタイルは、教員が教える授業から「子どもたちが自ら考え、意見をまとめる授業」に変わっていく。
 - ・本市教育委員会の ICT 活用目標は「ICT を有効活用し、子どもたちの更なる学力向上を図る」ことであるので、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得が基本となる。
 - ・ICT 端末を毎日使うことで慣れ、ICT 環境があたり前になるが、そこで終わらず、前向きに自ら工夫して使うことにつなげられるかどうか重要。
 - ・ICT そのものに惑わされず、ICT がどのように学びに活かされているか、どのような学力が身についたか、常に教員が使い方をチェックし、義務教育の本分である「学び」につなげていく。
- ② 令和 2 年度は確実な準備期間
 - ・次年度開始時の ICT 活用のイメージ (ICT 活用が常態化した子どもの 1 日) を市全体で共有することで、教職員、児童生徒、保護者、地域が同じ目線で ICT 活用を推進することにつながる。
 - ・今後は、ICT を使わないと授業が進まず、質の高い授業のためには ICT の活用が必要なため、教員の活用を推進することが学力向上の

カギとなる。教職員への十分な研修の機会を確保しなければならない。

- ・全ての教員が自作教材を作成できるようにするため、アイデアをその場で教材化し、共有することが重要で、これまで延べ16校で研修を実施した。

③ 令和3年度実施に向けたビジョン

- ・最初は形から入ってもよい。慣れてくれば児童生徒は工夫し、改善するようになる。そして深化していけるように順次進めていきたい。
- ・ICT活用が常態化した時のイメージを実現するため、運用マニュアルの整備、研修機会の充実、研究校の指定等が必要になると思われる。これらをまとめた「令和3年度 ICT 活用推進・運用計画」をなるべく早く策定し、先生方にお示しするとともに、準備状況をチェックする「事前のチェックポイント」も示していきたい。

○市 長 説明が終わりましたので、協議に入ります。ただいまの説明に対しましてご意見、ご感想などがございましたらお願いいたします。

○市 長 いまご説明いただいた資料は、国から配布されたものですか。それとも市独自のものですか。

○教育情報企画監
尾畑 宏 いえ、指導主事の先生方、教育長のご意見・指針、または学校の先生方から頂いた意見などをまとめまして、このようなかたちにしました。

○教育長 教育における ICT の活用が先生方に浸透すれば、本市は教育 ICT の先進地になることも夢ではありませんが、一方で教員の負担が多くなることは確実でして、特に ICT 環境に慣れていない年輩の教員が上手に活用していけるかが課題です。

むしろ ICT 環境に慣れた若い世代の教員にどんどん進めてもらうことで、逆に刺激を与えるようなことも必要かと思いますが、尾畑先生いかがですか。

○教育情報企画監
尾畑 宏 ある校長先生と話をした中で、小中一貫校区を活かすのはどうかという考えがあります。特に小規模校では、一人で悩んでも解決しませんから、同じ学校区の仲間の先生方、または同学年の先生方と相談することで、集まって勉強することが、本市の小中一貫教育の充実した環境を土台にすれば、可能かと思います。

○教育長 各学校においては、管理職の先生の動きが大事になってくると考えます。先ほど例示された自作の教材を作った学校などを見ますと、校長が真剣に取り組んでいる様子が見られます。

○市 長 確かに年輩の方々ほど、取り組みにくいのが実情でしょうから、それならばそれで、意欲のある先生の ICT 活用の取り組みについて、

阻害などせず、おおらかな気持ちで、積極的にやらせてあげて欲しい、見守っていただきたいと思います。

本市が先行してタブレット端末を配置したのは、教育のツールとする事は勿論ですが、それ以上に先生方に学校にも ICT の時代が来るということを認識していただきたい思いからであります。

年輩の先生方と若手の先生方の ICT に関する温度差は隔世の感がありましたから、この 5 年間をかけて先生方の意識も変わってきたと思いますので、ICT 教育における大田原方式というものをかたち作ってきていただいたと思います。

GIGA スクール構想は全国一律の施策ですが、地域間での差が、競争が出てくると思いますので、これまでの蓄積を活かしながら、コロナ禍ですので、先生方にも、子どもたちにも無理なくスムーズに進めていただきたいと思います。

○渡邊委員

子どもから話を聞きますと、小規模校でもありますので、最近の授業においても非常に活用されているようで、国語や道徳のような意見を交換するときには、他校と一緒にいくことでより多くの意見を聴いたりしているようです。

また、今年は小規模校どうしで、遠足も一緒に行ったとのことで、その打ち合わせもオンラインで行ったようで、子どもにとっては友達が増えますし、喜んでいる様子でした。

なお、計画の中では学校間の交流のような遠隔会議については、どのように考えていますか。

○教育情報企画監
尾畑 宏

須賀川小学校と両郷中央小学校では積極的に遠隔会議を使用しておりまして、先進的に授業に活用していますので、ノウハウが蓄積されております。これらを活用させていただいて、全校に広めていきたいと計画しております。

○教育長

いまの 2 校の活用が生まれているのも、根底には小中一貫の成果があるからだと思います。

○市 長

小中一貫教育は、非常にスピーディーに教育長に進めていただきましたが、その成果が ICT 活用に活かされているというのは喜ばしいことだと思います。

ゆくゆくは世界とつながることも当然になってくるでしょうが、まずは自分達の郷土の中で、小さい頃からネットワークを構築することができるというのは良いことだと思います。

○深澤委員

感想ですが、まったく今までのイメージとは違う社会が訪れるのだと思います。我々はもう遅いかもかもしれませんが、子どもたちはその真只中にいますので、しっかりと ICT の活用を身に付けてもらいたいと思います。

まだまだ、保護者も地域の方々も新しい社会にイメージに追いつい

ていないと思われまので、情報を積極的に提供することで児童生徒、学校と同じレベルにさせていただきたいと思ひます。

○森委員

端末については、Chrome book ということて、OS が Google chrome になるとのことてすが、全国的にみてどのような端末、OS が導入されているのでしょうか。

○学校教育課

主査 増淵俊行

県内の状況しか把握できておりませんが、WindowsOS よりは Google Chrome OS の方が多いとは聞いておりまして、近隣の那須教育事務所管内では、結果的に chrome OS で統一されました。

○市長

ほかに質問や意見はないようてすので、以上で（１）G I G A スクール構想の実現に向けた大田原市の取組についての協議を終了します。続いて、（２）第 7 7 回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」に向けた取組について、事務局の説明をお願いします。

○国体推進課長

- ・現段階で予定どおり 2 0 2 2 年に本県で開催となる。
- 【相撲】 令和 4 年 1 0 月 1 日(土)～3 日(月)
- ・団体戦と個人戦の 2 種目。県北体育館に土俵を設置する。練習用の土俵として会場周辺に 6 面設置する必要があるほか、控室も仮設で設置するため、比較的経費が掛かる種目となる。
- 【ソフトボール】 令和 4 年 1 0 月 8 日(土)～1 0 日(月)
- ・成年男子、女子、少年女子の 3 種目。成年女子は前年の東京オリンピック競技種目であるため大勢の観覧者が予想される。
- ・成年女子の会場は、美原公園野球場、第 2 球場で、日本ソフトボール協会の指導で、第 2 球場をメイン会場とし、仮に皇室の訪問がある際は、第 2 球場でご覧いただくことになる。
- ・水捌けの良いグラウンド整備を要望されており、グラウンド改修と、両翼壁への保護マット設置工事を進めている。費用の 8 割はスポーツ振興くじ助成金、2 割を県の第 7 7 回国民体育大会市町競技施設整備費補助金と市が半分ずつ負担している。
- ・黒羽運動公園及び大田原グリーンパーク会場へは、仮設スタンドを設置して観覧者の対応に努めます。
- 【バドミントン】 令和 4 年 1 0 月 7 日(金)～1 0 日(月)
- ・相撲競技が終了し、土俵など相撲競技の設備をアリーナ内から全て撤去したのち、コートマットを設置し養生期間を経てから、競技を開始する。
- ・日本バドミントン協会から要望のあったアリーナ内の照明の均一化を図るための工事は既に終了。
- 【公開競技】
- ・綱引は、県北体育館を会場とし、6 月 2 5 日(土)～2 6 日(日)で実施。正式競技に比べると選手数や観覧者の数は少なく、小規模な大会となる模様。
- 【全国障害者スポーツ大会、いちご一会とちぎ大会】

- ・本市は知的障害者のソフトボール競技会場となる。全体会期の10月29日(土)～31日(月)のうち2日間。会場は美原公園野球場等。

【デモンストラレーションスポーツ】

- ・スポーツチャンバラは、令和4年7月に県北体育館で実施する予定。
- ・ダンススポーツは、8月に県北体育館で開催する予定。
- ・リレーマラソンは、9月にDI STADIUM（美原公園陸上競技場）で実施する予定。

【大田原市の推進体制】

- ・国民体育大会開催基準要項に基づき、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会大田原市実行委員会」を設置。庁内組織として「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会庁内実施本部」を設置。

【広報啓発活動】

- ・令和3年4月からは、実行委員会が独自にホームページを立ち上げより詳細に情報発信をしていく予定。
- ・市役所の全庁を挙げた取り組みとして、開催カウントダウンボードの設置やエレベータ扉への装飾及び既存のイベント等におけるPRを計画。
- ・国体等の開催に合わせた環境整備として、会場周辺や幹線道路沿いの美化及び整備に取り組むなど、全庁を挙げた取り組みを実施予定。

【リハーサル大会】

- ・相撲は、第60回全国教職員相撲選手権大会を誘致。令和3年8月22日(日)。会場は、国体と同じく県北体育館のメインアリーナで、大相撲の巡業と同じように土俵を一つ設置。
- ・ソフトボールは、第73回全日本総合女子ソフトボール選手権大会を誘致。令和3年9月18日(土)～20日(月)。会場は、美原公園野球場、第2球場、黒羽運動公園多目的運動場。
- ・バドミントンは、バドミントンS/JリーグII2021大田原大会と銘打って実施。令和3年11月19日(金)～21日(日)。会場は、県北体育館。

○市長 説明が終わりましたので協議に入ります。ただいまの説明に対しましてご意見、ご感想などがございましたらお願いいたします。

○教育長 ソフトボール競技とバドミントン競技の日程が重なりますが、会場周辺の駐車場は足りそうですか。

○国体推進課長 かなり厳しいものと考えておまして、一部駐車場の増設を行いますが、公的機関の駐車場をお借りしまして、そこからのバス輸送も考えております。

○市長 その他、質問や意見はないようですので、以上で議題に関する協議を終了します。
滞りなく議事を進行することができましたことに感謝申し上げます。
ここからの進行は事務局にお願いします。

○教育部長

貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。
次に、次第の4 その他 に移りますが、皆さまから何かござい
ますか。

特に何もないようですので、以上で、令和2年度第1回総合教育会
議を終了させていただきます。ありがとうございました。

閉会 (午後3時5分)